

宮城県沖を震源とする地震に対する対応（第7報）〔最終報〕

平成17年8月22日

17 : 00 現在

国土地理院
災害対策本部事務局

平成17年8月16日11時46分頃、宮城県沖を震源とする地震があった。これを受けて国土地理院においては、同日11時46分に「宮城県沖を震源とする地震」災害対策本部（本部長：国土地理院長）を設置した。

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 地震の概要

発生日時 平成17年8月16日（火） 11時46分頃
震源地 宮城県沖（北緯38.1度、東経142.4度）（暫定値）
震源の深さ 約42km（暫定値）
規模 マグニチュード7.2（暫定値）

各地の主な震度（震度5強以上）

震度6弱 宮城県川崎町

震度5強 宮城県石巻市、涌谷町、田尻町、栗原市、東松島市、仙台市宮城野区、仙台市泉区、名取市、蔵王町、登米市、岩手県藤沢町、福島県国見町、川俣町、相馬市、新池町、鹿島町

津波注意報 宮城県の沿岸 11時50分発表 13時15分解除

2. 災害対策本部等

1) 災害対策本部

8月16日（火）11時46分 「宮城県沖を震源とする地震」災害対策本部（本部長：国土地理院長）を設置。

13時30分 第1回災害対策本部会議を開催。

18時00分 第2回災害対策本部会議を開催。

8月17日（水）10時00分 第3回災害対策本部会議を開催。

8月22日（月）17時00分 災害対策本部会議を閉鎖。

2) 現地災害対策本部

8月16日（火）11時46分 東北地方測量部に現地災害対策本部を設置。

3. 主な活動状況

1) 現地との連絡等

現地災害対策本部との連絡を確保し情報を収集。

2) GPS連続観測による地殻変動の監視

緊急解析を実施。

地殻変動の解析結果を基に震源断層モデルを推定。

3) 地理情報等の提供

災害対策用地形図等を首相官邸、内閣府、国土交通省防災センターに提供。

4) 会議等への出席

8月16日(火) 18時20分から開催の宮城県沖を震源とする地震災害対策関係省庁連絡会議に参事官が出席。

8月17日(水) 10時00分から開催の第146回地震調査委員会(臨時会)に地理地殻活動研究センター長が出席。

5) 記者発表等

8月16日(火) 19時00分 「宮城県沖を震源とする地震に伴う地殻変動(第1報)」を発表。

22時00分 「宮城県沖を震源とする地震に伴う地殻変動(第2報)及び緊急測量の実施」を発表。

6) ホームページによる情報提供

8月16日(火) 国土地理院ホームページに「宮城県沖を震源とする地震関連ページ」を開設。

・電子国土に宮城県沖を震源とする地震の震源位置及び震度6弱を観測した宮城県川崎町の位置を表示。

・宮城県沖を震源とする地震に伴う地殻変動(第1報)[記者発表資料]を掲示。

・天井が落下したスポーツ施設(仙台市、スポパーク松森)付近の土地条件図を掲示。

・宮城県沖を震源とする地震に伴う地殻変動(第2報)及び緊急測量の実施[記者発表資料]を掲示。

8月17日(火) 宮城県沖の地震に伴う地殻変動(アニメーション)掲示。17:00

7) その他の動向

8月16日(火) 本省防災センターに、関東地方測量部調査課長が参集。

8月17日(水) 牡鹿半島周辺地域において緊急測量実施。

8月22日(月) 地震予知連絡会において本地震に関する検討。